

平成30年度

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告及び附属明細書

人口減少社会を迎え、さまざまな問題が深刻化するなか、平成30年度は4月に施行された改正社会福祉法により「我が事・丸ごと」という地域福祉推進の理念が示されるなど、社会福祉のありように大きく関わる法改正や施策の展開がされました。このような福祉の動きに的確に対応するため行政や社会福祉関係機関等との連携を深め、本会の「総合力」と「ネットワーク」を最大限発揮し、福祉と共生のまちづくりをめざして事業を進めてまいりました。

地域福祉の推進については、第2期地域福祉活動計画の策定に向けた取り組みを進め、各地区社協・福祉の会と連携し各地区地域福祉活動計画と一体的に策定しました。市計画推進委員会及び各地区での企画・検討をとおして、長浜市内の福祉課題の現状と地域福祉活動の評価、1期計画（5カ年）での取り組みを活かした更なる地域福祉活動の展開に向けた協議を進めました。

在宅介護サービス等については、厳しい経営状況の中でも、住民の信頼に応えながら必要な福祉サービスの提供を持続するため、引き続きサービス向上等による利用促進を図ると共に、施設管理、介護事業等の中長期的な在り方について検討を始め経営の安定化を図りました。

施設介護事業では、入所者の皆様の生活の場として、その方が望む生活を営むための適切で質の高いサービスを提供できるよう、職員研修の充実を図るとともに、感染予防の徹底に努めてまいりました。

公益事業に関しては、新たに県からの委託事業として、外国人介護職員初任者研修を実施し、幅広く人材確保を行い、介護事業所への就労につながるようになりました。

以下、平成30年度の具体的事業等についてご報告いたします。

1. 地域福祉の推進

平成30年度は、第2期地域福祉活動計画の策定をとおして、長浜市内の福祉課題の現状と地域福祉活動の評価、更なる地域福祉活動の展開に向けた取り組みを進めました。また、それぞれの地域では、地区社協・福祉の会が中心となり、地区地域福祉活動計画の策定に向けた取り組みをいただき、更なる地域福祉課題の把握及び課題解決に向けた住民福祉活動の検討を進めていただきました。

地域福祉コーディネーター、ボランティアコーディネーター、相談員（生活相談、権利擁護支援、しょうがい相談等）を配置し、小地域福祉活動及びボランティア活動、生活相談支援等の各福祉テーマ型の事業・活動の展開及び拡充に努めました。また、国が提唱する「我が事・丸ごとの地域共生社会」づくりに向けて、平成30年10月から長浜市の委託を受けて地域力強化推進事業『暮らしの支えあい検討会』を開催し、暮らしの課題やその解決に向けた住民福祉活動の取り組みの検討を進めました。

(1) 地域福祉活動支援

【地域福祉活動計画の推進】 事業費実績額 1,483,035 円（事業人件費除く）

地域福祉活動計画の進捗管理を行うため、地域住民、福祉関係機関、行政等との連携により長浜市地域福祉活動計画推進委員会を設置し、地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業の推進を図りました。また、地域住民や関係団体、社協、介護事業所、行政等が連携・協働し、各地区の地域福祉推進に向けた支援と取り組みの方向性を話し合う場として福祉懇談会（地域ケア会議）を開催し、市内全地区において地域実情に応じた地域福祉を推進するための第2期地区別地域福祉活動計画の策定に向けた取り組みを進めました。

- 福祉懇談会（地域ケア会議）の開催 86回
- 地区別地域福祉活動計画の推進支援 15地区
- 長浜市地域福祉活動計画推進委員会の開催 3回

■長浜市地域福祉活動計画推進委員会

開催日	内 容
H30.06.29	◇第2期計画の策定について ◇要綱等協議 ◇「地域福祉の新たな視点」について協議
H30.11.06	◇基本理念と基本目標について協議 ◇ワーキング会議報告と協議 ◇地域福祉の新たな視点に関わるプロジェクトチームの開催について
H31.03.26	◇基本理念、基本目標、行動指針について協議 ◇ワーキング会議報告と協議 ◇地域福祉の新たな視点に関わるプロジェクトチーム報告と協議

■長浜市地域福祉活動計画推進アドバイザーとの協議

開催日	内 容
H30. 04. 26	第2期長浜市地域福祉活動計画について
H30. 06. 14	第10回地域福祉活動計画推進委員会について 第2期長浜市地域福祉活動計画について ・地域福祉の新たな視点について
H30. 09. 05	第2期長浜市地域福祉活動計画について ・基本目標について
H30. 10. 29	第11回長浜市地域福祉活動計画推進委員会について 第2期長浜市地域福祉活動計画について ・基本目標と活動について
H31. 01. 31	第2期長浜市地域福祉活動計画について ・計画推進の目安となる活動について
H31. 03. 23	第12回長浜市地域福祉活動計画推進委員会について 第2期長浜市地域福祉活動計画について ・計画推進の目安となる活動について

【地区社協支援事業】 事業費実績額 7,853,909円(事業人件費除く)

地域の実情に応じた福祉活動を推進する基幹的福祉団体である地区社協との連携のもと各地域の福祉活動・交流活動を進めることを目的として地区社協への支援を実施しました。

○地区社協数 15地区

○地区社協活動推進事業補助金 15地区 定額200,000円 会費納入世帯×150円

○地区社協事務局運営補助金 6地区 定額100,000円 会費納入世帯×50円

○代表者会議・研修会の実施

開催日	内 容
H30. 06. 08	各地区事業の紹介と意見・情報交換
H30. 07. 26	各地区事業の紹介と意見・情報交換 研修会「地域福祉活動計画について」 講師：山下憲昭さん(長浜市地域福祉活動計画推進アドバイザー)
H30. 08. 22	視察研修会 行先：伊丹市社会福祉協議会
H30. 09. 26	各地区事業の紹介と意見・情報交換 各地区福祉委員の取組について
H30. 12. 20	各地区事業の紹介と意見・情報交換 虎姫地区暮らしの支えあい検討会について
H31. 01. 20	研修会「地域共生社会を切り拓く」 講師：野崎伸一さん(厚生労働省)

【福祉委員支援事業】 事業費実績額 50,816円(事業人件費除く)

地域における福祉課題への解決に向けた取り組みや地域交流を深めることを目的に設置された福祉委員を支援し、地域実情に応じたきめ細やかな小地域福祉活動がそれぞれの地域で実践されることを目的として支援を行いました。

また、福祉委員シンポジウムを開催し、地域の福祉課題解決に向けた取り組みや見守り活動、地域交流の推進を目指し、地域の福祉活動の担い手の育成に努めました。

○福祉委員シンポジウム

- 開催日 平成30年9月2日(土)
- 参加者数 89名
- 基調講演 「地域におけるつながりづくり
～災害時に備えて普段からのつながりを～」
- 講師 大谷大学文学部社会学科教授 志藤修史さん
- 活動発表 加納町福祉委員会 加納まさ子さん、加納真由美さん
中之郷福祉委員会 中山克己さん

○地区別福祉委員研修会の開催・支援

開催回数：5回(南郷里地区、神照地区、西黒田地区、湖北地区、高月地区)
参加者数：231名

○福祉委員活動や支援に関わる出前講座

開催回数：6回(5自治会) 参加者数：142名

【地域見守り活動推進事業(避難支援・見守り支えあい事業)】

事業費実績額 105,990円(事業人件費除く)

日ごろの支えあいの積み重ねによる、いざという時の迅速な対応や、安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の支えあいを基本とした見守りや声かけをはじめとするふれあい活動に加え、自治会等の災害時要援護者支援対策「地域支え合いづくり促進事業」と連携を図った、防災・減災活動、避難支援体制整備(防災福祉マップ作製など)を推進しました。

○相談支援、取り組み支援自治会数

15自治会(勝自治会、下坂浜自治会、加納自治会、北新南自治会、西上坂自治会、大井自治会、田自治会、河毛自治会、横山自治会、田居自治会、伝馬自治会、下余呉自治会、集福寺自治会、塩津浜自治会、山門自治会)

1学区(杉野学区)

○啓発活動・研修会等の開催

実施回数：21回(自治会17、団体3、地区1)

参加者数：延べ1,044名

○見守り活動啓発資料の配布

取り組み自治会：延べ44自治会

【災害支援活動ネットワーク事業】

地域内のさまざまな組織や団体、福祉施設、企業等と協働し、防災・減災活動をテーマとした研修会を開催することで、参加団体を中心として災害時だけでなく日ごろからの地域福祉活動や見守り活動の必要性を高める啓発活動を推進しました。

地域団体間の連携・協働体制のネットワーク化を継続して支援することで、地域の福祉課題やニーズに対応した、地域ぐるみの福祉活動を推進する基盤づくりを進めました。

○研修会

- 第1回 ■開催日 平成30年5月30日(水)
- テーマ 「ほんわかネットワーク SOSについて」
- 講師 長浜市役所職員
- 参加者数 10名
- 第2回 ■開催日 平成30年7月9日(月)
- テーマ 「災害時要支援者の支援について」

- 講 師 三谷新治さん
- 参加者数 16名
- 第3回 ■開 催 日 平成30年9月3日(月)
- テ ー マ 「災害時の避難行動について」
- 参加者数 16名
- 第4回 ■開 催 日 平成31年1月23日(水)
- テ ー マ 「西日本豪雨と熊本地震のボランティア体験よりと
ひでよし隊の活動について」
- 講 師 ボランティアセンター職員
- 参加者数 14名
- 第5回 ■開 催 日 平成31年3月11日(月)
- テ ー マ 「災害ボランティアセンター模擬体験」
- 講 師 ボランティアセンター職員
- 参加者数 14名

【ふれあい電話事業】

事業費実績額 288,603円(事業人件費除く)

登録されたひとり暮らし高齢者等の方々に対し、ボランティアの協力のもと電話による友愛活動を実施しました。民生委員・児童委員や各福祉関係機関との連携のもと安否確認・生活相談を行うことで、社会的孤立感の解消や日常生活上の課題解決に向けた取り組みを行いました。

また、協力ボランティアを対象とした研修会と交流会を開催し、相談の質向上に努めるとともに、ボランティア同士のつながりづくりを進めました。

○実施内容 安否確認や福祉ニーズの把握(悩み、不安、健康状態、福祉サービス等)のための電話による友愛活動

○実施日時 毎週水・木曜日 午前10時～午前11時50分 計93日間

○通話者 ボランティア団体、民生委員・児童委員協議会 計17団体

○対象者 96名(H31.3.31現在)

○通話件数 延べ2,068件

○個別対応 利用者からの相談に対し、専門相談または関係機関等への連絡
延べ31件

○研 修 会 ■開催日：平成30年10月12日(金)

講 演：「コミュニケーションのコツをつかんで話し上手・聴き上手」
～会話の楽しくなるコミュニケーションを学びましょう～

講 師：夢こらぼ 主宰 松尾やよい 氏

■開催日：平成30年12月11日(火)

内容：「ふれあい電話利用者への年賀状作り」と交流会
～スタンプを使った簡単年賀状作り～

年賀状作り講師：重信 瞳 氏(絵手紙講師)

【ふれあいサロン支援事業】

事業費実績額 2,742,812円(事業人件費除く)

地域のボランティアが主体となり、高齢者やしょうがい者など地域での交流機会が希薄になりがちな要援護者等を中心として、地域住民がともにふれあえるサロン活動の支援を行いました。サロン活動の充実を目的に、サロンで使えるレクリエーション講座を開催しました。また、サロン支援員を配置し、運営ノウハウ、レクリエーションの提供などの活動支援に取り組みました。

○助成団体数：204団体(実施期間1年～3年：30,000円 3年以降：10,000円)

○新規取り組み団体数：11 団体

○サロン交流・研修会の開催

第1回

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
H30. 7. 4(水)	木之本まちづくりセンター	サロンで使えるレクリエーション講座 コミュニケーション麻雀	44 名
H30. 7. 4(水)	湖北福祉ステーション	〃	43 名
H30. 7. 5(木)	南郷里まちづくりセンター	〃	41 名
H30. 7. 6(金)	神照まちづくりセンター	〃	19 名

第2回

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
H31. 2. 14(木)	高月まちづくりセンター	サロンで使えるレクリエーション講座 座布団で楽しく筋力トレーニング	74 名
H31. 2. 15(金)	湖北福祉ステーション	〃	83 名
H31. 2. 15(金)	南郷里まちづくりセンター	〃	70 名

○小地域サロン交流会：11 地区 延べ参加者 455 名

○レクリエーション支援（一時支援）：93 団体

○サロン立ち上げ支援（継続支援）：3 団体

○サロン情報紙の発行：年 6 回

【広報紙の発行】 事業費実績額 1,519,499 円（事業人件費除く）

地域の福祉活動や本会の取り組み、福祉関係の情報を提供する広報紙、ボランティア活動者・サロン運営者向けの情報紙を発行することで、福祉に対する意識向上、地域福祉活動への参加促進、そして活動者、当事者の交流のきっかけづくりを行いました。また、併せて本会活動に対する理解の向上に努めました。

ホームページ、Facebook ページを運営し、手軽に情報を受け取っていただけるよう記事の更新に努めました。

○広報紙の発行

■社協ながはま

発行回数：年 4 回（5 月・8 月・11 月・2 月号）

発行部数：42,000 部/回

■ボランティア情報誌「えくすてんど」

発行回数：年 12 回

配布方法：各まちづくりセンター配布

発行部数：約 1,400 部/回

※5 月・8 月・11 月・2 月号は社協ながはまに掲載

■ボランティアセンターだより「ランティーンちゃん はーい」

発行回数：年 3 回（4 月・10 月・3 月号）

発行部数：約 400 部/回

■サロン情報紙

発行回数：年 6 回（4 月・6 月・8 月・11 月・1 月・2 月）

発行部数：約 260 部/回

○ホームページの運営（アドレス<http://www.nagahama-shakyo.or.jp/>）

○Facebook ページの運営 (アドレス<https://www.facebook.com/nagashakyou/>)

○広報紙「社協ながはま」 広告企業の募集

【福祉活動団体の支援】

事業費実績額 1,165,000 円 (事業人件費除く)

市内で活動する福祉団体に対して活動費の助成を行い、福祉団体の育成・活動の促進に努めました。

○助成団体 9 団体

○支援事業数 15 事業

- 長浜市民生委員・児童委員協議会
- 長浜市手をつなぐ育成会
- 長浜市老人クラブ連合会
- 長浜市母子福祉のぞみ会
- 小中学校教育研究会特別支援教育部会
- 滋賀県私立保育園連盟湖北ブロック
- 長浜市視覚障害者協会
- 長浜地区更生保護女性会
- 長浜米原しょうがい者自立支援協議会

- 長浜市民児協運営事業
- 知的しょうがい児者交流事業 (4 事業)
- 地域友愛事業、グラウンドゴルフスポーツ大会
- 母と子のふれあい広場
- 長浜市小中学校特別支援学級合同学習発表会
- 滋賀県私立保育園絵画展 (湖北ブロック)
- 料理教室、盲人野球教室、ボウリング体験
- 一般ケース研究会
- 障害者差別解消普及啓発イベント

【歳末たすけあい運動】

事業費実績額 4,286,634 円 (事業人件費除く)

共同募金運動の一環として地域住民や民生委員・児童委員、福祉関係機関、団体等の協力のもと新たな年を迎える時期に、誰もが地域で安心して暮らし、地域のたすけあいや支えあいの活動を広げることを目的として取り組みを推進しました。

事業名	支援対象者・団体数・参加者数など
緊急食料給付事業	生活困窮者向け食料品の購入および給付
特別支援学級等学用品助成事業	特別支援学級生徒等 246 名
要保護世帯図書カード支援事業	要保護世帯児童生徒 44 名
一人暮らし高齢者等歳末掃除支援事業	80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 181 件
歳末おせち料理配食事業	80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 983 件
歳末行事支援事業	市内の福祉施設・福祉団体 24 団体
福祉対象者交流会 (サンタクロース慰問事業)	長浜市内小児病棟入院患者 約 25 名

【しょうがい者等交流事業】

事業費実績額 460,709 円 (事業人件費除く)

○しょうがい者等交流事業 (療育レクリエーション) ※長浜市手をつなぐ育成会と共催

しょうがい者とその家族および福祉関係者やボランティアが行事をとおして交流を深めることで、しょうがい児者世帯の日常生活の充実と地域での孤立化を予防し、日ごろから相談できる関係の構築を図ることを目的に実施しました。

開催日	開催場所	内容	参加者数
H30.7.14(土)	湖北福祉ステーション	ステージイベント、模擬店、カラオケ等	110 名

○しょうがい者等交流事業 (しょうがい者余暇支援事業 ～料理サロン～)

しょうがい者の余暇充実と、将来の生活に備え簡単な料理を学ぶ「料理サロン (生活訓練)」をとおして日常生活の充実を図り、地域ボランティアと関わることで地域との結びつきを深めることを目的に開催しました。

■開催日時 毎月第3土曜日 9:30～13:30

■登録者数 20名

開催場所	開催回数	延べ参加者数	延べボランティア数
木之本福祉ステーション	11回	159名	22名

○しょうがい者等交流事業（しょうがい児者保護者交流事業）

長浜養護学校および市内小中学校特別支援学級、療育支援センターに通学（級）するしょうがい児童・生徒の保護者等を対象に、しょうがいについての理解を深め、気軽に相談し交流できる仲間（ネットワーク）づくりを目的に研修会“ほのぼのかけはし～みんなひとりじゃないんだよ～”を開催しました。

また夏休み余暇支援として“サマーハウス”を開催し、子どもたちの体験の場と保護者の交流の場を提供しました。

■ほのぼのかけはし

開催日	内容	講師	参加者数
H30. 07. 19(木)	研修会 「しょうがい福祉のまちづくり～福祉制度について一緒に学びませんか？～」	○長浜市しょうがい福祉課 ○佐藤明子さん (元特別支援学校教諭) ○中野弘美さん (当事者保護者)	7名
H30. 10. 26(金)	講演会 「当事者が語る発達しょうがいの世界」	○西山真里さん (にじいろねっと代表) ○佐藤明子さん ○中野弘美さん	14名
H30. 11. 13(火)	研修会・ランチ交流会 「自立と自律」	○佐藤明子さん ○中野弘美さん	2名
H30. 11. 26(月)	学校・施設見学 「学校・職場を見学しましょう！」	○佐藤明子さん ○中野弘美さん	11名
H30. 12. 11(火)	保護者の情報交換会 「かけはしカフェ～みんな、おしゃべりしませんか？～」	○佐藤明子さん ○中野弘美さん	6名

※開催場所：高月福祉ステーション

■サマーハウス(夏休み余暇支援)

開催日	開催場所	内容	参加者数
H30. 07. 24(火)	高月福祉ステーション	ワークショップ (furico) 工作 (紙コップのトコトコ動物)	15名
H30. 08. 01(水)	浅井福祉センター	工作 (サンドアート)、買い物	20名
H30. 08. 09(木)	木之本福祉ステーション	調理 (カレー作り)、 ワークショップ (疾風 kaze)	26名
H30. 08. 21(火)	名古屋港水族館	バス遠足	25名

○しょうがい者等交流事業（元気クラブ）

一般就労する知的しょうがい者の余暇活動支援および仲間づくりを目的とした交流事業を湖北地域しょうがい者支援センター「ほっとステーション」との共催で開催しました。

■開催内容および参加者数等

内 容	開催回数	延べ参加者数
事務（企画）会議	6回	81名
外出・社会見学（日帰り旅行、カラオケ、紅葉狩り、新年会、初詣等）	10回	206名
スポーツ体験（卓球、笑いヨガ）	3回	30名
調理実習	4回	78名

※湖北地域しょうがい者支援センター共催

【在宅介護者のつどい事業】

事業費実績額 579,976円（事業人件費除く）

在宅で介護する方を対象に、日ごろの悩み相談や情報交換ができる仲間づくりの交流会、介護の技術や知識の学習会、介護者が日常的に抱える不安やストレス緩和のリフレッシュの機会などを設け、制度の円滑な利用や介護者の孤立防止を図り、在宅介護の充実に努めました。

開催日	開催場所等	内容	参加者数
H30.04.12(木)	長浜豊公園	豊公園の桜散策と長浜城&ホテルでカフェ交流会	14名
H30.05.8(火)	総持寺	総持寺のボタン鑑賞と宝物拝観	19名
H30.06.14(木)	アグリパーク竜王	バスでお出かけ♪さくらんぼ狩り&ランチ交流会	29名
H30.07.05(木)	高月福祉ステーション	時短簡単!介護食の調理講習会と試食会	9名
H30.08.31(金)	湖北福祉ステーション	認知症の勉強会&カフェ交流会	17名
H30.09.19(金)	彦根ビバシティシネマ	映画鑑賞&ランチ交流会	18名
H30.10.19(金)	高月福祉ステーション	チョークアート体験教室&カフェランチ交流会	16名
H30.11.15(木)	北国街道木之本宿	木之本地蔵院参拝と北国街道木之本宿散策	17名
H30.12.04(火)	湖北福祉ステーション	クリスマスサンドアート作り&カフェ交流会	13名
H31.01.22(火)	湖北福祉ステーション	介護予防出前講座～転ばない体づくり～&ほっこり茶話会	9名
H31.02.22(金)	びわ高齢者福祉センター	感染予防出前講座&にぎり寿司食べ放題	20名
H31.03.07(木)	湖北福祉ステーション	勉強会&昼食交流会	16名

【ふれあい備品助成事業】

事業費実績額 537,500円（事業人件費除く）

自治会に対して、地域福祉活動や交流事業等に必要な備品の整備を支援することで、地域活動・住民活動の活性化、住民相互の交流促進に努めました。

- 助成内容 福祉活動・世代間交流に必要な備品購入助成
1自治会 50,000円以内 購入費総額の2/3以内
- 助成団体数 13自治会

(業務用掃除機、屋外掲示板、刈払機、折りたたみテーブル、ベンチ、縁台、液晶テレビ、エアコン、消火器、複合機、時計など等の購入助成)

【ふれあい用具貸出事業】

事業費実績額 246,981円（事業人件費除く）

自治会など地域福祉活動を推進する団体等が行う地域行事に対して、必要な用具を貸出し、地域交流の増進に努めました。

○ふれあい用具貸出実績

用具名	貸出件数	用具名	貸出件数
ポップコーン機	103件	綿菓子機	100件
鉄板	48件	かき氷機	89件
たこ焼き機	12件	串焼き機	3件
網焼き機	12件	クレープ焼き機	0件
サンタクロース衣装	7件	着ぐるみ	21件
プロジェクター	184件	スクリーン	91件
テント	39件	布絵本	2件
車いす(学習用等)	39件	カラオケセット	2件
ビンゴゲーム機	42件	その他	176件
マイク・アンプ	36件	輪投げ	100件
コミュニケーション麻雀	162件	レクリエーション用各種ゲーム	661件
		合計	1,929件

【福祉用具・介護用車両貸出事業】

事業費実績額 171,317円（事業人件費除く）

在宅の高齢者やしょうがい者へ車いすを貸出し、在宅での生活を支援しました。

また、外出支援として在宅で生活する高齢者や、しょうがい者の社会参加の促進と家族の絆を深めるため、介護車両の貸出しを行いました。

- 福祉用具(車いす)の貸出回数 263回
- 車いす移送用車両の貸出回数 282回

【第9回社会福祉大会】

事業費実績額 492,297円（事業人件費除く）

社会福祉の推進・向上に多大な貢献をされた個人ならびに団体を表彰し、その功績を称えらるとともに、多額の浄財を寄付していただいた個人・団体に対して感謝状を贈り、社会福祉の啓発を図りました。

また、地域福祉に対する理解と関心を高めるため、福祉講演会を開催するとともに、福祉標語・福祉ポスターの表彰および発表、ボランティア活動の発表、各種福祉関係の展示等を行いました。

- 開催日時 平成30年11月23日(金) 9:00~12:00
- 開催場所 長浜市立浅井文化ホール(長浜市内保町2500)
- 参加者数 324名

○内 容

■社会福祉功績者表彰式

◇会長表彰 【個人】： 11名 【団体】：3団体

◇感謝状 ○善意銀行の部

【個人】： 3名 【団体】：6団体

■あったかハート標語表彰式

◇小学4年生の部 3名 ◇小学5年生の部 3名 ◇小学6年生の部 3名

■福祉のポスター表彰式

◇小学5年生の部 3名 ◇小学6年生の部 3名

■シンポジウム

講演「地域福祉活動計画と地域福祉活動」

講師：山下憲昭さん（大谷大学教授）

◇地域での活動紹介

①「子どもを中心とした地域の居場所～子ども食堂まんま～」

紹介者 村山さおりさん（子ども食堂まんま）

②「祇園元町の無理なくできる毎日の見守り活動」

紹介者 西浜文男さん（祇園元町福祉委員会）

③「地域としょうがい者のつながり ～だんないに込める思いと共に～」

紹介者 美濃部裕道さん（NPO法人 C I Lだんない）

■その他

◇被災地復興支援バザー ※主催：市内各ボランティア連絡協議会

◇しょうがい者共同作業所等物品販売

◇デイサービス作品展

◇赤い羽根共同募金パネル

◇相談コーナー（介護・認知・成年後見等）

◇地域活動展示

◇「笑顔の写真」展示コーナー

◇あったかハート標語・福祉のポスター展示

【中山間地支援事業】

事業費実績額 387,774円（事業人件費除く）

人口減少や少子高齢化の影響が地域住民の生活や福祉活動に顕著に表れる中山間地域で、住民相互のたすけあい、支えあい活動や住民の憩いのための居場所づくり、生きがいを持って日々の生活を送り健康で健やかな暮らしを応援するための支援活動を行いました。

○地域カフェ「ほっこり茶屋」（コミュニティカフェ）

開設日時：毎週木曜日 10:00～15:00（第5木曜、祝日、年末年始を除く）

開設場所：余呉高齢者福祉センター

開設日数：46日

利用者数：延べ885名

○生きがいづくり教室

開催日時：基本第1・3木曜日 9:00～12:00（第5木曜、祝日、年末年始を除く）

開催場所：余呉高齢者福祉センター

開催教室：健康づくり教室、料理教室、小物作り教室、カラオケ 等

開催日数：31日

参加者数：延べ152名

○高齢者生きがいがづくり通所活動

開設日時：第1・3月曜日 10:00～15:00
開催内容：カゴバック作り、小物作り、畑作業
開催日数：24日
参加者数：延べ40名

○中山間地域フォーラム

開催日時：平成31年3月9日（土）13:30～15:30
開催場所：余呉文化ホール（長浜市余呉町中之郷2434）
参加者数：96名
内 容：講演

講演「中山間地域での取り組みについて」
講師：松宮朝准教授（愛知県立大学准教授）

活動紹介

- ①「中山間地域の世代を超えた居場所づくり」
発表者：平野龍子さん（長浜市社会福祉協議会）
- ②「中山間地域の買い物を支える移動販売カエル号」
発表者：平野由加里さん（余呉地域づくり協議会）

その他 ◇ほっこり茶屋（コーヒー販売） ◇高齢者作業所（物品販売）
◇元気かい活動紹介パネル ◇カエル号紹介ブース

【ワークキャンプ支援事業】

事業費実績額 594,568円（事業人件費除く）

中山間地域の地域課題緩和を目的として、若年層ボランティア（大学生）、一般ボランティアによる地域活動の参加を企画し、地域課題に対する認識と地域住民と参加者との交流を深めました。

また、余呉の歴史や文化、暮らしなどを実際に見て、聞いて、知ることによって中山間地域の魅力や少子高齢化などによる地域の暮らしの困りごとについて学ぶための体験学習を開催しました。

実施期間	実施地区	支援内容	延べ参加者数
H30.9.1～9.3	余呉地区 摺墨・中河内・菅並	台風被害による山手の水路づくり、側溝の土砂あげ	60名
H30.9.2	余呉地区 菅並	交流会	45名
H31.2.15～2.18	余呉地区 摺墨・中河内・菅並	除雪作業、土砂あげ	57名
H31.2.17	余呉高齢者福祉センター	交流会	17名

○ワークキャンプ in 余呉 フィールドワークツアー

実施日：平成30年12月8日（土）10:00～15:00
実施場所：余呉地区上丹生、菅並、中之郷
参加者：9名

【福祉出前講座】

市民団体、地域団体等が開催する研修会等に職員を派遣することで市民との協働による地域福祉活動の推進を図りました。

○福祉出前講座の開催（職員の派遣）

派遣件数：162件（地域福祉課109件、介護事業課53件）
受講者数：4,008名

内容	件数	内容	件数
防災ゲーム「クロスロード」	3件	災害ボランティアセンター	8件
防災ゲーム「HUG～避難所運営ゲーム～」	4件	サロンレクリエーション	58件
見守り活動のススメ	10件	成年後見制度と権利擁護事業	4件
災害時体験「いざメシ作り」	2件	ここが知りたい「介護保険制度」	3件
災害時体験「災害時の生活」	2件	お口の健康、元気でいきいき生活！	1件
回想法講座	4件	レクリエーションで日常の楽しみを	17件
高齢者疑似体験	6件	介護予防講座～健康は足もとから～	14件
ボランティア入門	4件	介護予防講座～脳活のすすめ	14件
リクエスト講座	8件		

【冒険遊び場づくり活動支援事業】

子どもの外遊びをとおした居場所づくりを目的とした、冒険遊び場を開催しました。また、冒険遊び場の活動に関心のある団体・個人への相談・開設支援を行いました。

- 冒険遊び場の実施 月1回 10:00～15:00
開催場所：浅井ふくらの森、余呉はごろも市観光館前
- 開催相談・支援 4件
- 用具貸出 3件

【子育て支援事業】（おもちゃ図書館）

未就園の幼児と保護者を対象に、様々なおもちゃでの遊びや簡単な工作をとおして、子どもの豊かな発想と発育を支援するとともに親子のふれあいや保護者同士、地域のボランティアとの交流を促進し、子育て環境の充実を目的に実施しました。

虎姫会場では虎姫福祉の会「は～とらんど」と協働で事業展開し、木之本会場では地域ボランティアや活動グループ協力のもと、地域ぐるみの子育て支援を推進しました。長浜市子育て支援センターとの共催企画も実施し（各会場2回）、内容の充実と幅広い周知活動に努めました。

- 虎 姫会場 毎月第2・3水曜日 9:30～11:30
- 木之本会場 毎週火曜日 9:30～11:30

開催場所	開催回数	延べ参加者数	延べボランティア活動者数
虎姫会場	25回	400名	37名
木之本会場	51回	272名	50名

【日常生活支えあい促進事業】

事業費実績額 1,256,260円（事業人件費除く）

高齢化の進行、核家族化やライフスタイルの多様化、中山間地域の人口減少など、地域に住む高齢者やしょうがい者、子育て世代など、日常生活を送るうえで様々な生活課題や日常生活の不便さを感じる方に対し、地域住民が主体的に地域の生活課題の解決に向けて取り組むこと目指して、地域支援組織（生活支援ボランティア組織等）の設立・活動支援を行いました。また、新規活動者養成のため、生活支援サポーター養成講座を開催し、生活支援の視点で地域を見つめ直し活動へつなげる機会としました。

- 住民参加型の生活支援ボランティア組織等活動支援

■支援団体：かんだサポート会（神田地区）

元気かい（余呉地区）

西黒田きんたろうサポート会（西黒田地区）

スマイルサポート西浅井（西浅井地区）

- 支援内容：活動従事者研修会の開催、活動費の助成、活動用具の貸与、送迎用車両の貸出、活動周知支援、活動保険加入支援等

○住民参加型の生活支援ボランティア組織等設立支援

- 支援団体：浅井地区

- 支援内容：事業説明および活動検討会議への参加等

○新規活動者の養成

- 生活支援サポーター養成講座（全3回）の開催
参加者 延べ59名

【地域除雪支援事業】

事業費実績額 36,664円（事業人件費除く）

高齢者世帯及びしょうがい世帯等の要援護者世帯等の除雪活動に対して、活動保険の加入、除雪支援用の小型除雪機の貸出を実施することで要援護者宅の除排雪活動を支援し、地域の見守り支えあいの活動による雪対策の推進を図り要援護者の冬期生活環境向上を推進しました。

- 取り組み自治会数：75自治会
- 要援護者登録世帯数：1,966世帯
- 除雪支援活動登録者数：1,683名

【長浜市福祉バス事業】

事業費実績額 7,385,961円（事業人件費除く）

市内で活動する福祉団体、ボランティア団体等が実施する様々な福祉事業（大会参加、研修事業、交流事業、ボランティア活動等）を支援するため、長浜市から委託を受け福祉バスを運行し、福祉団体活動の活性化、当事者団体による要援護者等の社会参加と交流を推進しました。

- 貸出件数：87件（大型バス38件、中型バス29件、小型バス18件、リフト付きバス2件）
- 利用者数：2,125名

【ひきこもり者等居場所づくり事業】

事業費実績額 167,462円（事業人件費除く）

不登校者やひきこもり者等が他者と交流するための支援として、親の会や保健所等各関係機関と連携し、当事者の居場所づくりに取り組みました。また、定期的に交流会を開催しひきこもり当事者の外出の促しを支援するとともに、家族同士の交流の場を設け、社会的孤立感の軽減とつながりづくりを推進しました。

また、“ひきこもり”に対する理解と地域でのあたたかい支援の輪を広げることを目的とした研修会を実施しました。

○「えんかふえ～ひきこもりの若者 不登校のこどもの居場所～」の開催

- 開催日時：毎月第1、3木曜日 13：30～16：30
- 延べ参加人数：当事者38名 保護者44名

○研修会・家族交流会の開催

第1回

- 開催日：6月10日（日）13：30～16：30

- 内容：第1部 ひきこもりがちな方と歩む研修会

講演 「わたしは“わたし”であって大丈夫」

～高速道路のような社会を、自分のペースで生きるために～

講師 高垣 忠一郎さん（臨床心理家）

第2部 家族交流会

- 参加人数：第1部 35名 第2部 13名

第2回

■開催日：3月2日（土）13：30～16：30

■内容：第1部 ひきこもりがちの方と歩む研修会

講演 「子どもの生きるちからを育むソーシャルスキルトレーニング」

講師 鈴木 正樹さん（株式会社アットスクール）

第2部 家族交流会

■参加人数：第1部 53名 第2部 12名

○当事者・家族支援

県内で開催された研修会、交流会への参加支援

■延べ支援人数：3名

○親の会支援

親の会新規立ち上げ支援（会場手配、チラシ作成・配布支援、研修会開催支援等）

■2団体

【多文化交流サロン支援事業】

事業費実績額 8,266円（事業人件費除く）

市内に在住の外国籍の方々の交流を支援し、ボランティア活動者と共にサロンの中で地域とのつながりなどが発展するよう努めました。

○内容・開催回数等

■開催日時 毎月第3日曜日 10：00～12：00

■開催回数 11回

■参加者数 延べ30名

■内 容 日本の文化を感じる活動

【地域力強化支援事業】

事業費実績額 1,664,005円（事業人件費除く）

地域住民などが主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境の整備、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備を推進し、地域共生社会の実現に向けた地域力の強化に努めました。

■「暮らしの支えあい検討会」の実施

◆日時：平成30年10月1日（月）15：00～16：10

会場：生きがいセンター 参加者：26名

内容：暮らしの支えあい検討会について説明

地域の困りごとについてKJ法、マトリクス分析をもとに意見交換

◆日時：平成30年11月8日（木）10：30～12：15

会場：生きがいセンター 参加者：31名

内容：「第1回地域共生社会推進全国サミット」に参加して（ふり返り）

虎姫地区のビジョンを考えよう

◆日時：平成30年12月5日（水）10：30～12：00

会場：生きがいセンター 参加者：30名

内容：企画をカタチにするレクチャー&グループ企画

◆日時：平成31年1月15日（火）10：30～12：00

会場：生きがいセンター 参加者：24名

内容：テーマに分かれてワークショップ

- ◆日 時：平成31年2月5日（火）10：30～12：00
会 場：生きがいセンター 参加者：26名
内 容：テーマに分かれて企画立案
- ◆日 時：平成31年3月6日（水）10：30～12：00
会 場：生きがいセンター 参加者：25名
内 容：企画シートをもとに取組みの具体的な企画
取組みのPR活動について検討

■研修会の実施

- ◆「第1回地域共生社会推進全国サミット in ながくて」
日 時：平成30年10月29日（金）8：00～18：00
会 場：愛・地球博記念公園、愛知県立大学 参加者：19名
- ◆「地区社協代表者会議研修会」
日 時：平成30年12月20日（木）10：00～10：30
会 場：湖北福祉ステーション 参加者：13名
内 容：事例紹介「虎姫地区暮らしの支え合い検討会」
紹介者：田邊太美雄さん（虎姫福祉の会）
- ◆「地域共生社会を切り拓く」
日 時：平成31年1月20日（日）13：30～15：30
会 場：湖北福祉ステーション 参加者：68名
内 容：①講演「地域共生社会を切り拓く」
講師：野崎伸一さん（厚生労働省）
②事例紹介「虎姫地区暮らしの支え合い検討会」
紹介者：田邊太美雄さん（虎姫福祉の会）
③ワークショップ
進行：神庭慎次さん（studio-L）
- ◆「住みよいまちづくりを目指して」
日 時：平成31年3月9日（土）13：30～15：00
会 場：虎姫文化ホール 参加者：80名
内 容：講演「地域共生社会とは？なぜ必要？求められる地域・自治会の姿」
講師：北川憲司さん（滋賀県地方自治研究センター理事）

(2) ボランティア支援

【ボランティアセンター事業】

事業費実績額 4,321,135 円 (事業人件費除く)

ボランティア活動を支援し住民参画による地域福祉の推進を図りました。地域住民が幅広くボランティア活動に参加できるよう、活動に関する相談、情報・資料の提供、講座の開催やボランティア活動に対する啓発に努めました。ボランティア交流会を開催し、地域福祉活動への参加促進や活動者同士の交流の促進を行いました。

○ボランティア登録団体数 252 団体 (H31. 3. 31 現在)

○ボランティアコーディネート件数

■ボランティア相談件数 530 件

■ボランティア派遣回数 411 回

○ボランティア団体の活動支援

■ボランティア活動助成について

助成団体数：95 団体 (1 団体上限 40,000 円)

助成金額：3,220,194 円

○ボランティア講座の開催

講座名	主な内容	講座回数	延べ受講者数
◆子どもボランティアきっかけ講座	○高齢者になって買い物しよう！ (新聞を作成)	2 回	8 名
◆子どもボランティアきっかけ講座 (年間)	○しょうがい、高齢者、妊婦などの体験をとおして福祉を考えます	6 回	30 名
◆初級手話教室	○手話の基礎研修 (昼コース・火曜夜コース・水曜夜コース・土曜コース)	12 回 (3 会場)	124 名
◆しょうがい支援サポーター養成講座	○しょうがいへの理解と支援者の養成	2 回	17 名
◆ボランティア支援講座	○ちらしの作り方を学ぼう	1 回	21 名
◆ボランティアきっかけ講座	○おもちゃドクターの養成	3 回	40 名
◆ボランティアフォローアップ講座	○おもちゃドクターフォローアップ	6 回	48 名
◆ボランティアスキルアップ講座	○施設を知ってより良いボランティア活動しよう	1 回	18 名
◆ボランティア受入講座	○施設においてより良いVの受け入れについて	1 回	21 名
◆まちづくり講座	○子どもの遊び場づくり ※市民活動センター共催	1 回	43 名
◆ひとづくり講座	○居場所づくり ※市民活動センター共催	2 回	70 名
◆防災ボランティア養成講座	○災害ボランティアセンターの運営等について 理解を深める	2 回	38 名

○情報紙の発行 ※【広報紙の発行】参照

○ボランティア登録の推進

新規登録：13団体

団体立ち上げ：1団体 「おもちゃ病院 ながはま」

○啓発イベント事業

『ボランティア活動と出会える時間』

開催日：平成31年2月16日（土）～2月21日（木）

場所：アルプラザ平和堂

内容：ボランティア紹介と体験ブースの開催

○ボランティア保険の加入促進と事務取扱

■ボランティア保険取扱数

ボランティア活動保険 4,085名

ボランティア行事用保険 196件

福祉従事者保険 26件

送迎サービス補償 1件

■事故対応取扱数

事故対応 6件

○ボランティアグループへの相談支援

■ボランティアグループ活動・運営等の相談

相談数：124件

○ボランティア連絡協議会への支援：9団体（地区）

■市内ボランティア連絡協議会活動費助成金

助成団体数：6連絡協議会

助成額：248,000円

■市内9つのボランティア連絡協議会会議

会議回数：54回

事業数：26回

■市内ボランティア連絡協議会代表者会の開催

開催数：6回

■平成30年7月豪雨義援金活動

活動期間：平成30年7月20日～11月30日

義援金額：152,879円

■ボランティア交流会(市内ボランティア連絡協議会共催)

開催日：平成31年2月23日（土）

参加者数：214名

■復興支援バザーの開催支援

市内ボランティア連絡協議会代表者会主催の復興支援バザーの開催支援（H30.11.23）

バザー収益金額：25,242円

※第9回長浜市社会福祉大会と同時開催

【福祉教育支援事業】

事業費実績額 472,447 円（事業人件費除く）

市内の小学校・中学校・高等学校・養護学校等との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めました。また地域、自治会や福祉施設等において、体験をとおした思いやりや助け合う意識力を高める取り組みも行いました。

- 支援学校数 小中学校 29 校
- 養護学校 1 校
- 地域、自治会、施設等 23 団体
- 学習プログラム支援 236 時間

■主な学習プログラム

- ◇インスタントシニア体験 ◇車いす体験 ◇手話について学ぶ
- ◇点字について学ぶ ◇要約筆記について学ぶ ◇アイマスク体験
- ◇しょうがい者等当事者からの体験談 ◇ボランティア学習 ◇災害 他

【災害ボランティアセンター体制整備事業】

事業費実績額 7,339 円（事業人件費除く）

災害ボランティアセンターの体制整備を図り万が一の災害時に対応して、円滑なセンターの設置および運営が実施できるよう準備するとともに、併せて市民啓発を行うことで地域住民の災害に対する関心を高めました。防災ボランティア「ひでよし隊」の立ち上げを行いボランティアによる災害に強いまちづくりを推進しました。

- 災害ボランティアセンターの啓発

■防災カフェの開催

開催数	開催日と時間	対象者	開催場所
第1回	H30.05.21（月） 11：00～12：00	聴覚しょうがい者	北部福祉ステーション
第2回	H30.08.21（火） 13：30～14：30	高齢者	東部福祉ステーション
第3回	H30.09.01（土） 11：00～12：00	小学生	北部福祉ステーション
第4回	H31.01.28（月） 14：30～15：30	デイサービス利用者	東部福祉ステーション

■災害ボランティア設置訓練内での啓発

長浜市総合防災訓練において

開催日：平成30年10月21日（日）10：00～12：00

開催地：長浜市立びわ北小学校

■長浜市総合防災訓練への参画

開催日：平成30年10月21日（日）7：00～12：00

開催地：長浜市立びわ北小学校

訓練：ボランティア受付、ニーズ調整、派遣送り出し

避難所の運営

災害グッズ展示と体験ブースの開催

協力：びわ地区の方

防災ボランティアひでよし隊員

■防災について出前講座

「災害ボランティアセンターの役割」「いざ飯」等 11回

■災害ボランティアセンター運営支援者養成講座

日 時：平成30年 9月21日 災害について

平成30年 9月28日 災害ボランティアセンターの役割について

参加者：38名

■災害ボランティアセンター運営登録者研修

開催日数：毎月1回開催(全12回)

登録者数：28名

研修内容：クロスロード・いざ飯研修・日赤防災倉庫見学等

■平成30年7月豪雨災害派遣

派遣場所：岡山県倉敷市

活動日：平成30年7月28日～8月27日

派遣職員数：5名

(3) 生活相談支援

【地域福祉権利擁護事業】 事業費実績額 3,159,247 円 (事業人件費除く)

判断能力が不十分なため権利侵害を受けやすい認知症・知的しょうがい・精神しょうがいのある方等に対して、福祉サービスの利用手続きの支援をはじめ、日常的な金銭管理、書類等の保管などを行いました。福祉サービス・行政サービス等を適切に利用できるよう支援し、また不当な権利侵害等を未然に防ぐことに努め、地域で安心して生活が送れるように支援しました。

【援助内容】

- 福祉サービスの利用援助
- 日常的な金銭管理
- 書類等預かりサービス

	認知症 高齢者	知的 しょうがい者	精神 しょうがい者	合 計
利用者数 (H31. 03. 31 現在)	88 名	88 名	42 名	218 名
新規利用者数	22 名	2 名	10 名	34 名
利用終了者数	15 名	3 名	4 名	22 名
相談援助回数	4,449 回	4,341 回	2,028 回	10,818 回

【成年後見事業】 事業費実績額 1,326,990 円 (事業人件費除く)

判断能力が不十分で、契約などの法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方に対し、本人の判断能力に応じ、意思決定が最大限尊重されるよう本会が成年後見人等となり、財産管理・身上監護・その他必要な法律行為を行いました。

また、市の委託を受けて長浜市成年後見・権利擁護センターを運営し、成年後見制度や利用手続き支援、地域の中で権利擁護体制の基盤を作るための啓発講座等を実施しました。

- 法人後見事業
 - ・財産管理
 - ・身上監護
 - ・その他、本人の権利擁護に必要な法律行為等

■法人後見受任

	受任件数 (H31. 3. 31 現在)	備考
後見類型	6 件	新規 4 件
保佐類型	6 件	新規 1 件
補助類型	2 件	

○成年後見サポートセンター事業

■広報・啓発事業

出前啓発活動	関係団体：6団体 受講者：116名		
啓発講座の開催	期日	内容等	受講者数
	第1回 8月30日	基礎からわかる成年後見講座	26名
	第2回 9月11日	知って安心！任意後見制度と遺言	17名
	第3回 12月15日	意思決定支援を考える研修会	47名
啓発資料の作成	カレンダー・年齢早見表：2,000部		
事例検討会	期日	内容等	受講者数
	第1回 7月12日	事例検討会	68名
	第2回 7月13日	事例検討会	54名
	第3回 9月26日	事例検討会	23名
	第4回 3月22日	事例検討会	20名

■成年後見サポーター養成講座

成年後見および地域福祉権利擁護事業の担い手を育成するサポーター養成講座を開催しました。

成年後見サポーター養成講座の開催	期日	内容等	受講者数
	第1回 08月30日	成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の概要	18名
	第2回 10月4日	認知症への理解と相談援助の方法	13名
	第3回 10月11日	知的しょうがい者・精神しょうがい者への理解と相談援助の方法	17名
	第4回 10月18日	社会保障制度と消費生活への理解	18名
	第5回 10月23日	成年後見事務の方法	17名

■相談支援回数

事項(対象)	相談者	相談者						合計
		本人	親族	福祉	医療	司法	行政	
成年後見制度に関する相談	認知症高齢者	9	71	143	7	21	13	264
	知的しょうがい	0	8	46	1	62	1	118
	精神しょうがい	2	7	11	3	1	3	27
市長申立手続きに係る相談	認知症高齢者						24	24
	知的しょうがい						15	15
	精神しょうがい						4	4
合計		11	86	200	11	84	60	452

■申し立て支援回数

事項(対象)		対象者	本人	親族	行政	合計
後見申立	認知症高齢者		4	91	64	159
	知的しょうがい		0	0	6	6
	精神しょうがい		0	5	0	5
保佐申立	認知症高齢者		4	22	10	36
	知的しょうがい		0	0	2	2
	精神しょうがい		6	1	0	7
補助申立	認知症高齢者		0	0	0	0
	知的しょうがい		0	0	0	0
	精神しょうがい		0	0	0	0
合 計			14	119	82	215

■成年後見受任者支援 成年後見制度受任者情報交換会

開催日	開催内容	参加人数
H31.03.19(火)	成年後見利用促進の施策推進状況と意見交換会	7名

■くらしの困りごとなんでも相談会（ワンストップ相談会）の開催

開催日	開催場所	相談人数
H30.11.16(金)	長浜市役所本庁舎	17組

■運営委員会の開催

- 第1回 平成30年 6月27日(水) 15:00～16:30
- 第2回 平成30年 12月5日(水) 14:00～15:30
- 第3回 平成31年 3月27日(水) 13:30～15:00

【よろず相談事業】 事業費実績額 1,996,415円（事業人件費除く）

広く住民の日常生活上の悩みや心配ごとの相談を受け、適切な情報の提供を行い、地域住民の福祉増進と、生活の安定を図れるように努めました。

○開設日時・場所

開設場所	開設日	開設時間
長浜市社会福祉センター (専用電話 63-4811)	毎週月・火・水・金曜日	午後1時～午後4時
	毎週木曜日	午前9時～正午
湖北福祉ステーション	毎月第4水曜日	午前9時～正午
木之本福祉ステーション	毎月第4木曜日	午前9時～正午

○相談実績

区 分	開設日数	相談件数
1. よろず相談	①一般相談	127日 190件
	②専門相談	52日 71件
2. 法律相談	24日	88件
合 計	203日	349件

○相談員研修会の開催

- 開催日時 平成31年3月28日(木) 13:30~15:15
- 開催場所 湖北福祉ステーション
- 内 容 相談員研修会「空き家」について考える
講師：長浜市都市建設部建築住宅課 すまい政策推進室
滋賀県司法書士会 空き家・所有者不明土地対策委員会
司法書士 菅原信道さん
- 参加者数 17名

○司法書士会による相続・遺言無料相談会の支援

・第1回

- 開催日時 平成30年8月22日(水) 9:00~12:00
- 開催場所 木之本福祉ステーション
- 相談者数 12件

・第2回

- 開催日時 平成31年2月16日(土) 13:00~16:00
- 開催場所 湖北福祉ステーション
- 相談者数 42件

【生活福祉資金】 事業費実績額 1,460,000円(事業人件費除く)

滋賀県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯、高齢者世帯、しょうがい者世帯を対象に、必要な資金の貸付及び生活相談を行うとともに、民生委員・児童委員の指導、援助を受けることで経済的自立および生活意欲の助長・促進ならびに在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活に向けての支援を実施しました。

○新規貸付件数 44件

- 総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 44件

○年度末貸付件数 1,094件(H31.3末件数)

- 総合支援資金(離職者支援資金・復興支援資金含む) 398件(H31.3末件数)
- 福祉資金・教育支援資金 689件(H31.3末件数)
- 長期生活支援資金 0件(H31.3末件数)
- 臨時特例つなぎ資金 7件(H31.3末件数)

【たすけあい資金貸付事業】 事業費実績額 217,658円(事業人件費除く)

緊急的に生活維持費が必要な世帯に対し、生活資金を貸付けることにより安定した生活が営めるよう支援を行いました。

○新規貸付件数 50件

○新規貸付額 1,985,000円

○年度末貸付件数 214件

○年度末貸付額 3,601,600円(平成31年3月31日現在)

【緊急食料給付事業】

事業費実績額 96,907円(事業人件費除く)

低所得世帯等で緊急的に食料給付が必要な世帯に対し食料品を給付し、当該世帯の生活維持の支援を行いました。また、電気・ガスの供給停止等により給付する食料の調理が困難な場合には、調理器具を貸与しました。

- 緊急食料給付件数 72世帯(実人数 102名)
- 調理器具貸与件数 1件

【しょうがい相談支援事業所「ふらっと」「ナノハナ」の運営

事業費実績額 934,757円(事業人件費除く)

しょうがい福祉等の総合相談窓口として、本人やご家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、サービス利用計画の作成等の支援を行うとともに、福祉サービスや制度利用についての情報提供および利用支援を行いました。

福祉サービスを利用または利用見込みのしょうがい児(者)に対して計画相談支援に基づくサービス等の利用計画の立案を行い、適切なサービスを利用し安心して生活できるよう支援しました。また、定期的にサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行いサービス計画の適切な見直しを実施しました。

障害者総合支援法に基づく障害支援区分認定調査業務を市から受託し、認定区分が適正に審査会で判定されるよう、身体や生活の状況、しょうがい福祉サービスの必要性、日中活動や社会活動状況等の調査を行いました。

○個別相談援助業務

【ふらっと】 サービス等利用計画作成契約者数

	対象者数	のべ件数
しょうがい福祉サービス等の利用援助	82名	1,398件
生活支援に関する計画作成	125名	132件
ケアプラン作成後のモニタリングの実施	48名	67件
サービス調整連絡会議の開催	10名	12件

【ナノハナ】 サービス等利用計画作成契約者数

	対象者数	のべ件数
しょうがい福祉サービス等の利用援助	110名	1,003件
生活支援に関する計画作成	87名	147件
ケアプラン作成後のモニタリングの実施	47名	82件
サービス調整連絡会議の開催	15名	30件

○しょうがい福祉に関する調整業務等

■長浜米原しょうがい者自立支援協議会への参画と協働・連携体制の構築

- ・全体会 年間3回
- ・当事者サポーター推進委員会 年間9回
- ・その他、各部会研修会へ参加 年2回

■湖北地域相談支援事業所会議への参加と情報共有・連携体制の構築 年間5回

■職員定例会の開催と情報共有・連携体制の構築 年間12回

■障害支援区分認定調査(受託)の実施 年間15件

2. 在宅介護サービス

介護事業の経営改善に向けた取組として、ケアプランセンターの統合、びわ・虎姫デイサービスの一体運営による事業の見直し、利用者数に応じた適正な職員配置、車両総数の見直し等による管理経費の削減を行い効率的な経営を図りました。また、各デイサービスの利用定員、実施地域の拡大による受け入れ態勢の整備、リハビリマシンの整備、AIおはなしロボットの導入等によるサービス向上、事業所PRのためのグッズ作成、広告掲載、ホームページで空き状況の掲載等広報機能の強化を行いました。

介護人材の育成の面においては、介護職員初任者研修を引き続き実施すると共に、今年度は県の委託事業で外国人介護職員初任者研修を実施し受講生12名全員が修了することができました。また就業時間後に実施する職員全体研修においては、子ども等の家族の同伴も可とし、子育て中の職員でも研修に参加しやすい環境づくりを行いました。

9月4日の台風21号通過に伴う対応として、前日にサービスの中止を決定しご利用者様ならびに職員の安全確保を優先しました。台風の影響による3日間の停電で事業が実施できなかったほのぼのデイサービスセンター湖北のご利用者様に対して、本会の近隣のデイサービスの振り替え利用を行いました。

【居宅介護支援事業】 事業活動支出計 111,509,420円（前年度対比 93.2%）

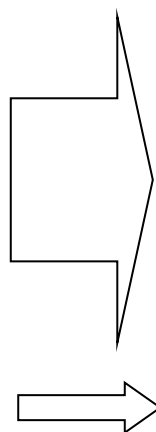
○居宅介護支援事業（介護保険事業）

○介護予防支援事業（受託事業）

平成30年9月から4か所の居宅介護支援事業所を1か所に統合し、ほのぼのケアプランセンター長浜としてスタートしました。この統合により、多様なスキルを持った専門性の高い職員を一つの事業所に集約することができ、多様なニーズへの対応、職員スキルアップのための育成・指導・相談体制の機能強化を行うと共に、管理経費の削減による効率的な運営を進めました。

事業所名	職員数
ほのぼのケアプランセンター第1事業所 (北部福祉ステーション内)	5
ほのぼのケアプランセンター第2事業所 (浅井福祉センター内)	5
ほのぼのケアプランセンター第3事業所 (高月福祉ステーション内)	4
ほのぼのケアプランセンター伊香の里 (伊香の里内)	4
ほのぼのケアプランセンター西浅井 (西浅井福祉ステーション内)	4
合計	22

職員数H30.4



事業所名	職員数
ほのぼのケアプランセンター長浜 (湖北福祉ステーション内)	16
ほのぼのケアプランセンター西浅井 (西浅井福祉ステーション内)	4
合計	20

職員数H31.3

区 分	ほのぼのケアプランセンター		合 計	前年度	前年比	
	長 浜	西浅井				
常勤換算数 (名)	15.68	3.6	19.28	22.64	85.16%	
利用者数	事業対象者 (名)	17	8	25	89.28%	
	要支援数 (名)	796	399	1,195	1,178	101.44%
	要介護数 (名)	5,533	1,197	6,730	7,247	92.87%
	合 計 (名)	6,346	1,604	7,950	8,453	94.05%
平均持ち件数 (名) ※1	31.57	32.42	31.73	28.89	109.83%	

※1 平均持ち件数 = { (事業対象者 + 要支援数) ÷ 2 + 要介護数 } ÷ 常勤換算数 ÷ 12か月

【デイサービス事業】 事業活動支出計 571,928,839 円 (前年度対比 97.3%)

- 通所介護事業 (介護保険事業)
- 総合事業通所介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)
 - ・利用定員と営業区域を拡大し、新規利用者の受け入れ体制を整えました。
 - ・びわ代を虎姫代のサテライトにし、営業日を週 5 日にする事で効率な事業所運営を行いました。また事業所の名称をいろは・はなれいろはに変更することで親しみやすくなりました。
 - ・利用者自ら自主的にリハビリを実施できるよう、フロアにリハビリ器具を配置し、要支援の方から重度の方まで、無理なく使用して頂くことで、身体機能の維持向上に取り組みました。
 - ・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士など専門的な知識を有する専門職と介護職との共同により利用者の持てる力を最大限に引き出す自立支援に向けた介護技術の研修会や事例検討会を重点的に行い、利用者の残存能力を活かした関わりを持つ視点を職員が共有し、より質の高いサービスに繋げることができました。

【デイサービス事業実績】

区 分	開所日数 (日)	延利用者数 (名)		前年度 (名)	前年比	定員等
東部	307	介護サービス	4,942	5,248	94.2%	30名→35名
		介護予防サービス	662	550	120.4%	
		計	5,604	5,798	96.7%	
北部	307	介護サービス	4,609	5,229	88.1%	30名→35名
		介護予防サービス	706	700	100.9%	
		計	5,315	5,929	89.6%	
浅井	306	介護サービス	5,628	5,557	101.3%	30名→35名
		介護予防サービス	471	471	100.0%	
		計	6,099	6,028	101.2%	

いろは (虎姫)	285	介護サービス	3,276	3,047	107.5%	20名→30名 (開所日) 6日→5日
		介護予防サービス	467	395	118.2%	
		計	3,743	3,442	108.7%	
はなれいろは (びわ)	286	介護サービス	2,850	3,228	88.3%	25名→18名 (開所日) 6日→5日
		介護予防サービス	494	641	77.1%	
		計	3,344	3,869	86.4%	
湖北	306	介護サービス	5,067	4,553	111.3%	30名→35名
		介護予防サービス	443	426	104.0%	
		計	5,510	4,979	110.7%	
高月	307	介護サービス	5,692	5,890	96.6%	30名→35名
		介護予防サービス	562	533	105.4%	
		計	6,254	6,423	97.4%	
木之本	307	介護サービス	4,763	5,400	88.2%	30名→35名
		介護予防サービス	850	617	137.8%	
		計	5,613	6,017	93.3%	
西浅井	306	介護サービス	5,594	6,047	92.5%	35名→40名
		介護予防サービス	1,555	1,411	110.2%	
		計	7,149	7,458	95.9%	
伊香の里	307	介護サービス	6,381	5,782	110.4%	30名→40名
		介護予防サービス	1,494	1,296	115.3%	
		計	7,875	7,078	111.3%	
合 計	—	介護サービス	48,802	49,981	97.6%	—
		介護予防サービス	7,704	6,733	109.4%	
		計	56,506	56,714	99.1%	

○ 活動支援型通所サービス事業（介護予防日常生活支援総合事業）

- ・一人ひとりの生きがいや自己実現のために、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう自立に向けた活動を提供しました。

区 分	定 員	開所日数	延利用者数 (名)
ほのぼのミニデイ北部	13名	50	211
ほのぼのミニデイ高月	13名	51	395
合 計	—	—	606

○ 小規模多機能型居宅介護事業（介護保険事業[地域密着型サービス]

○ 介護予防小規模多機能型居宅介護事業（介護保険事業[地域密着型サービス]

- ・デイサービス・ホームヘルプ・ショートステイの複合型サービスを、利用者のニーズに合わせ

て提供し、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう支援しました。
10月から登録者定員を20名に変更し、利用者拡大に繋げました。

【ひなたぼっこ実績】（登録者定員18名→20名・通所介護定員9名→10名）

区 分		実績（名）	前年度（名）	前年比
登録者平均数		15	14.9	100.7%
延利用者数		3,385	3,304	102.5%
利用 サー ビス	訪問延利用者数	681	518	131.5%
	通所延利用者数	2,546	2,450	103.9%
	宿泊延利用者数	158	304	52.0%

※小規模多機能型居宅介護：

要介護や要支援状態となっても可能な限り住み慣れた自宅や地域での生活が維持できることを目的としたデイ・ヘルプ・ショートを一体化させ、同じ施設でサービスを提供します。利用者とスタッフがなじみの関係が築けるよう区域を限定した小規模な施設となります。

- 認知症対応型通所介護事業（介護保険事業[地域密着型サービス]
- 介護予防認知症対応型介護事業（介護保険事業[地域密着型サービス]

- ・ 認知機能が低下された高齢者に対し、地域の中でも不安なく生活できるよう、きめ細かなサービスと個別の相談に応じ、その人らしい暮らしが続けられるよう支援しました。

【あじかまの里実績】（定員12名）

区 分		実績	前年度	前年比
開所日数		306日	309日	99.0%
延 利 用 者 数	介護サービス	1,755名	1,825名	96.2%
	介護予防サービス	44名	46名	95.7%
	計	1,799名	1,871名	96.2%

※認知症対応型通所介護：

認知症の人が日帰りでデイサービスセンターに通って、食事・入浴・機能訓練などの日常生活の介助を受けるサービスです。一般のデイサービスと異なり、認知症の人を対象としており、利用者は12人以下の少人数でサービスを受けられます。

【ホームヘルプサービス事業】 事業活動支出計 173,806,142 円 (前年度対比 89.9%)

○訪問介護事業 (介護保険事業)

○総合事業訪問介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)

○居宅介護事業・重度訪問介護事業・同行援護事業 (障害者総合支援事業)

- ・日常生活が困難な要支援要介護状態の方、しょうがいがある方へホームヘルパーを派遣し、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助のホームヘルプサービスを提供することにより、その方自身の能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう努めました。

○しょうがい者等移動支援事業 (長浜市受託事業)

- ・しょうがいがある方の自立生活と社会参加の促進を図るための外出に対してホームヘルパーを派遣し、移動支援のサービスを行いました。

○特定旅客自動車運送事業 (道路運送法第43条)

- ・高月・木之本・余呉・西浅井の地域に居住し、身体的理由により公共交通機関が利用できない介護認定者およびしょうがいのある方に伊香の里を拠点とした通院のための運送を行いました。

- ・事業所所長を中心に、各事業所のサービス提供責任者による専門委員会を定例的に開催し、記録の標準化・業務の流れの見直し再確認に努めるほか、全職種の全職員を対象に内部研修を行い、職員の資質の維持・向上に努め、在宅生活の継続に繋がる計画的な援助及び信頼に応えるサービスの実践を行いました。

【ホームヘルプサービス事業実績】

(延利用者数 [単位:名])

区 分	第 1	第 2	第 3	伊香の里	西浅井	合 計	前年比
訪問介護事業 (介護保険事業)	5,813	8,481	7,097	8,535	4,181	34,107	94%
身体介護	3,019	4,081	4,084	3,733	3,350	18,267	96%
生活援助	1,799	3,255	2,355	2,976	698	11,083	88%
身体・生活	995	1,145	658	1,826	133	4,757	99%
総合事業訪問介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)	945	839	693	1,927	256	4,660	109%
居宅介護事業 (障害者総合支援事業)	3,038	2,772	2,714	1,969	316	10,809	102%
身体介護	1,841	2,073	1,796	1,060	148	6,918	104%
家事援助	1,123	636	901	789	168	3,617	97%
通院介助	74	63	17	120	—	274	107%
重度訪問介護事業 (障害者総合支援事業)	156	300	—	—	—	456	105%
同行援護事業 (障害者総合支援事業)	7	9	248	—	47	311	102%
しょうがい者移動支援事業 (市受託事業)	—	—	8	2	—	10	333%

養育支援訪問事業 (市受託事業)	—	—	—	—	—	—	—
特定旅客自動車運送事業 (道路運送法第43条による)	—	—	—	1,863	—	1,863	89%
合計	9,959	12,401	10,760	14,296	4,800	52,216	96%

【訪問入浴事業】 事業活動支出計 11,742,925 円 (前年度対比 99.7%)

○訪問入浴事業 (介護保険事業)

○しょうがい者訪問入浴サービス事業 (長浜市受託事業)

- ・ご自宅での入浴が困難な方に対して、専門スタッフがご自宅を訪問し、その方の心身の特性を踏まえ、移動式浴槽を使って安全・快適な入浴サービスの提供に努めました。
- ・更なる質の高いサービスの展開を目指し、次年度に向け、サービス提供体制強化加算(I)イの算定要件体制を整えました。

【訪問入浴実績】

	延べ利用者 (名)	前年比
訪問入浴事業 (介護保険事業)	911	95%
しょうがい者訪問入浴サービス事業 (長浜市委託事業)	458	119%
合計	1,369	102%

【介護実習生受入】

○年間を通し各サービスにおいて介護を目指す生徒・学生・社会人を実習生として受入れ、介護への理解と将来の実践者教育としての指導を行いました。

介護実習依頼元	受入事業	受入人数	期 間
びわこ学院大学短期大学部	訪問介護	2名	5月14日～5月18日
大谷大学	通所介護	1名	6月11日～6月15日
長浜市立浅井中学校	通所介護	2名	6月11日～6月15日
滋賀県立長浜北星高校	通所介護	6名	8月17日～8月30日
長浜市立南中学校	通所介護	5名	10月23日～10月24日
長浜市立北中学校	通所介護	3名	11月5日～11月9日
滋賀県社会福祉協議会	居宅介護支援	1名	平成31年1月29～1月30日 2月6日, 2月8日, 2月14日
滋賀県社会福祉協議会	居宅介護支援	1名	平成31年2月7日, 2月12日～2月14日

【転倒予防教室】（長浜市受託事業）

受託金総額 250,000 円

身近にある自治会館などを利用し、高齢になるにつれて衰えがちな運動機能の向上を目指し、理学療法士等と地域5の高齢者が一緒に介護予防の学習、運動機能向上に有効な体操を行いました。また、教室終了後も介護予防の通いの場として自主的に活動ができるように活動継続支援を行いました。

【転倒予防教室実績】

実施自治会 (地区)	実施期間	参加者数	延べ参加者数
柏原(高月)	7月17日～10月9日	18名	128名

【こほく健康づくり広場】

長浜市内の高齢者を対象に、トレーニングマシンによる運動の場所を提供し、健康作りや健康増進、介護予防を実施するとともに、高齢者の活動や社会参加などを促すことで、閉じこもりや加齢により身体機能・能力の低下を防止する目的に実施しました。

■開催場所 湖北センター

■開催実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催日数	12日	12日	13日	12日	14日	10日
利用者数	221名	211名	194名	189名	269名	160名

開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日数	13日	12日	11日	11日	11日	13日
利用者数	268名	240名	197名	227名	244名	267名

3. 施設介護サービス

自宅を離れ施設に入所されても、住み慣れた地域で最後まで地域社会の一員として生きいきと自分らしい生活が送れるよう、利用者一人ひとりの尊厳を守り、その方が望む生活を営むための適切で質の高いサービスを提供できるように努めました。

委員会活動や研修会、更に今年度より施設内で研究発表を実施するなど、職員全体の資質と意欲の向上を図り、利用者の生活改善に取り組みました。

設備面では、入居者の生活習慣の改善のためベッド上での体動をモニターするマットレスの導入や、次亜塩素酸水生成器を設置し感染予防の取り組みの強化を進めました。

また、地域における社会教育やボランティア等、住民活動の場として地域に貢献できる開かれた施設を目指し、各種団体や関係機関、学生の実習などを積極的に受け入れました。

【特別養護老人ホーム】 事業活動支出計 272,569,033 円 (前年度対比 103.3%)

○特別養護老人ホーム入所事業（介護保険事業）50 床

○短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業（介護保険事業）20 床

要介護認定を受け、在宅での生活が困難な方に入所していただき、施設において日常生活全般の介護を提供しました。また、在宅で介護を受けている方に短期間入所していただき、家族の介護負担の軽減等を図るなど、在宅での生活が継続できるよう支援しました。

利用状況について、入所事業では、退所者、入院者がかなり多い年となりましたが前年度並みの利用状況となりました。短期入所生活介護事業では、事業所のPR、介護支援専門員との連携強化等を進める中で、より多く方にご利用いただけるよう努めました。

【特別養護老人ホーム入所事業実績】

稼働率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率 (%)	92.80	85.94	81.40	93.23	94.90	95.13	92.77	91.80	88.90	90.65	97.07	92.90	91.42	91.59

介護度別入所者数（月末在籍者数：人）

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
要介護2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0.8	1.7
要介護3	10	10	11	12	12	12	12	14	14	15	15	14	12.6	8.2
要介護4	23	25	24	25	22	23	22	20	20	21	22	23	22.5	20.3
要介護5	15	11	10	11	13	14	13	12	13	12	12	11	12.3	17.6
合計	49	47	46	49	48	50	48	47	48	49	49	48	48.2	47.7
退所者数	1	4	3	0	3	0	5	2	2	1	1	1	1.9	0.8
入所者数	0	2	2	3	2	2	3	1	3	2	1	0	1.8	1.0
入院者数	6	16	12	4	4	5	6	4	6	6	4	11	7.0	4.6

【短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業実績】

稼働率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	70.83	69.68	72.67	74.19	79.52	82.00	82.90	74.00	72.74	73.87	83.39	82.26	76.47	54.37

介護度別利用者数 (上段：延べ人数 下段：実人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	44	19	31	45	61	49	59	55	72	62	84	88	55.8	26.7
	7	5	4	7	8	8	7	10	11	11	13	12	8.6	3.7
要介護2	115	107	82	126	144	119	145	121	111	109	149	153	123.4	85.2
	16	16	16	18	19	16	16	15	15	12	13	17	15.8	11.7
要介護3	83	94	139	108	97	142	146	141	114	104	93	129	115.8	87.2
	13	13	16	13	13	16	18	16	14	13	16	16	14.8	11.1
要介護4	81	79	77	87	93	90	85	55	81	114	92	80	84.5	72.3
	10	10	10	10	9	8	8	7	8	10	9	11	9.2	8.7
要介護5	100	131	102	92	96	86	77	68	69	69	49	57	83.0	56.9
	9	10	10	7	9	6	6	5	5	5	4	6	6.8	5.0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
要支援2	2	2	5	2	2	6	2	4	4	0	0	3	2.7	2.5
	1	1	1	1	1	2	1	1	1	0	0	1	0.9	1.0
合計	425	432	436	460	493	492	514	444	451	458	467	510	465.2	330.8
	56	55	57	56	59	56	56	54	54	51	55	63	56.0	41.1

【施設実習受入実績】

彦根総合高校3年生	2名	8月8日～8月10日 (3日間)
北星高校介護福祉類型2年生	3名	11月6日～11月17日 (10日間)
北星高校介護福祉類型3年生	2名	6月18日～7月6日 (16日間)
佛教大学3年生	1名	9月3日～10月17日 (24日間)
外国人介護職員初任者研修	4名	12月19日・1月7日

【福祉交流学習受入実績】

伊香具小学校6年生	8名	5月15日、7月5日、11月2日 (3日間)
-----------	----	------------------------

【ボランティア受入実績】

内容	団体名	実施日
洗濯物たたみ	個人 (計3名)	毎月3回程度
デイお手伝い	団体(計2)個人(計3名)	毎月8回程度
傾聴	個人	毎月7回程度
施設法話	長浜教務所	毎月1回 (第1水曜日)

敷地内除草作業	ボランティア連絡協議会 民生委員児童委員協議会 赤十字奉仕団 シルバー人材センター	6月13日、9月26日
車いす磨き	民生委員児童委員協議会	年2回
窓ふき	さざなみ会	年1回
行事催し物	各種ボランティア団体 個人	毎月1回程度

※ ボランティア総会：平成30年3月15日

職員とボランティア相互の連携強化を目的とし研修会および交流会を実施しました。

【委員会活動実績】

委員会名	実施日・内容
衛生委員会	毎月第3水曜日（主任者会議内） 職員の健康障害の防止や健康の保持増進に関して労働環境の改善や労働災害防止の取り組みについての審議・決定
事故防止委員会・身体拘束廃止委員会	毎月第3水曜日（主任者会議内） ヒヤリハットや事故の検討を行い組織的に事故の再発防止や未然に防ぐ取り組みの決定 身体拘束に関する検討、分析、承認
入所検討委員会	毎月第3水曜日（主任者会議内） 入所待機者をガイドラインに則り、入所順位の決定
行事企画広報委員会	毎月第1火曜日 利用者の生活にメリハリをつけ、楽しみを持って暮らしていただくため毎月1回以上の施設内の催しや誕生会、外出支援等を企画調整。またフェイスブック等での情報発信および利用者の満足度調査を実施
給食・口腔ケア委員会	毎月第2水曜日 利用者の栄養状態の向上と食事を楽しむ工夫について検討。併せて歯科医師、歯科衛生士の指導のもと口腔ケア計画の策定と安全かつ効果的な口腔ケアの実施のための協議や勉強会の実施
感染対策・褥瘡予防対策委員会	毎月第1金曜日 施設における感染対策防止マニュアルの作成とマニュアル遵守のための研修会の実施。消毒機器の導入等による環境整備と業務改善。利用者の褥瘡予防のための対策の検討および勉強会の実施
入浴委員会	毎月第3月曜日 利用者の安全、安楽な入浴を目的に、統一した対応による快適な入浴支援を実施。また業務の見直しやよりよい介助方法を身に付けるための勉強会の実施

排泄委員会	毎月第2木曜日 利用者一人ひとりにあった排泄ケアの実現に向けて排泄パターンの分析を行い、個々の介助方法を見直すとともにオムツの見直しや介助技術の向上を図る研修会を実施
フロア運営会議	毎月第3金曜日 チームケアを推進する力をつけフロア間のサービス格差をなくす協議の場。フロア間の生活情報の共有化を図りチームで問題解決の糸口を発見するための検討と調整を行う

【軽費老人ホーム ケアハウス伊香】 事業活動支出計 25,632,997 円 (前年度対比 111.8%)

○定員 15 名 (個室 9 部屋、2 人部屋 3 部屋)

自炊ができない程度の身体機能の低下があり、独立して生活するには不安がある方で、家族等による援助を受けることが困難な方が入居し、食事や入浴等、日常生活上必要な便宜を提供するとともに、毎月、外出やレクリエーションの機会等を持ち、地域の中で可能な限り自立した生活を営んでいけるように支援しました。

利用者の平均年齢は 83.7 歳で、66 歳から 96 歳の男性 2 名、女性 10 名の計 12 名が入所されています。入所者の高齢化が進み生活の一部に介助を要する方や体調を崩される方も多くなっています。

なお、2 人部屋への入居希望者がなく、現在は 3 部屋とも単身での入居となっており、そのため 1 2 名で満室となっております。

【実績】 (月末在籍者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	稼働率
入居者数 (名)	12	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	78.8%

要介護度別利用者数(年度末人数)

	自立	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
入居者数 (名)	5	0	0	4	3	0	0	0	0	12

4. 施設管理等

【高齢者福祉センター事業】（東部・北部・高月・木之本）

受託金総額 35,212,000 円

※センター管理費含む

○外出支援事業（東部・北部）

高齢者等の閉じこもり予防を目的として、地域住民の利用促進を図るため車両の運行で福祉ステーションをより身近な憩いの場所として活用するとともに、買い物支援等を実施することで要援護者等の生活向上を目指しました。また健康増進を図るため、こころやからだの病気、生活習慣改善等についての健康相談を行いました。

	実施回数	参加者数（延べ）
東部高齢者福祉センター	12回	302名
北部高齢者福祉センター	12回	356名

○子育て広場（東部・北部）

	内容	実施回数	参加者数（延べ）
東部高齢者福祉センター	親子で3B体操教室	4回	53名
北部高齢者福祉センター	親子で3B体操教室	4回	29名

○生きがいづくり講座の開催とサークル活動支援（高月・木之本）

高齢者等および地域住民の生きがいづくりを促進するため、各種趣味活動への導入講座を開催し、高齢者の活動的で豊かな余暇を応援しました。また、講座参加者が中心となるサークル活動を支援することで地域のつながりを深めました。

	内容	実施回数	参加者数（延べ）
高月高齢者福祉センター	ヨガ教室	21回	318名
	ほのぼのカラオケ教室	23回	317名
	シルバー体操	22回	191名
	フラワーアレンジメント教室	8回	60名
	囲碁・将棋教室	43回	211名
	男の料理教室	8回	114名
木之本高齢者福祉センター	男の料理教室	2回	34名

○福祉講演会の開催（東部・北部・木之本）

地域住民を対象に福祉課題に対する研修や講演会を開催し、地域住民への福祉意識の啓発と福祉の担い手の発掘・育成を図りました。また地区社会福祉協議会（福祉の会）や公民館事業と連携し開催することで、地域・施設間の連携の強化に努めました。

	内 容	参加者数（延べ）
東部高齢者福祉センター	健康づくり ～たんぱく質を食べて膝を伸ばそう～	51名
北部高齢者福祉センター	むすびあい 心がけよう 地域の輪 ～いつも こころに 逢い・ラブ・遊～	120名

○高齢者福祉センター利用状況

地域の福祉事業の拠点として運営を行い各地域福祉事業の展開、地域住民・福祉団体活動に活用いただきました。

・東部高齢者福祉センター

	件数	利用者数 (名)
保健事業	4	166
研修・視察・学習会	28	50
交流会	48	220
会議	1	33
講演会	1	51
施設貸出	143	1,254
外出支援	12	302
施設管理ボランティア	4	119
電子浴サービス	61	119
その他	6	112
合 計	308	2,426

・北部高齢者福祉センター

	件数	利用者数 (名)
保健事業	47	215
研修・視察・学習会	45	265
交流会	62	539
会議	177	1,238
講演会	0	0
施設貸出	62	1,510
外出支援	12	372
施設管理ボランティア	0	0
電子浴サービス	159	361
その他	3	28
合 計	567	4,528

・高月高齢者福祉センター

	件数	利用者数 (名)
自主事業	125	1,211
団体利用	871	7,980
合 計	996	9,191

・木之本高齢者福祉センター

	件数	利用者数 (名)
自主事業	158	1,836
団体利用	363	4,861
合 計	521	6,697

・湖北福祉ステーション

	件数	利用者数 (名)
自主事業	944	12,443
団体利用	347	4,680
合 計	1,291	17,123

5. 公益事業

【介護職員初任者研修】

在宅サービス事業を幅広く実施し多数の有資格者を有する本会では、そのノウハウを活かし、介護の現場で必要となる基礎的な知識と技術を身につけることができる「介護職員初任者研修」（旧2級ヘルパー養成講座）を実施し、人材の育成・確保に努めました。

また、開催にあたって、本会職員が講師を務めることで、職員のスキルアップを図ることができ、本会サービスの資質向上につながられました。

- 開催期間 平成30年5月11日～平成30年8月8日の全24日間
- 開催場所 湖北センター
- 受講者 9名

【外国人介護職員初任者研修】

高齢化の進展と人口減少社会の中で多様なルートからの人材確保が必要になっていることから、良質な介護サービスが安定して提供されること、ならびに外国人の方々の雇用の促進を目的として、県内在住の外国人を対象とした「介護職員初任者研修」（旧2級ヘルパー養成講座）を実施しました。

また、開催にあたっては、本会のみならず湖北地域介護サービス事業者協議会等と連携をとり、新たな人材確保に努め、受講者を介護事業所への就労につなげられました。

- 開催期間 平成30年9月22日～平成31年2月2日の全24日間
- 開催場所 セミナー&カルチャーセンター 臨湖
- 受講者 12名

【地域包括支援センター事業】

事業活動支出計 96,843,526円（前年度対比 95.7%）

長浜北部福祉ステーション（神照）、生きがいセンター（虎姫）、高月福祉ステーション（高月）の3カ所で市の委託により地域包括支援センターを運営しました。

地域包括支援センターでは、総合相談支援、介護予防ケアマネジメント業務等を提供することで、身近で専門的な高齢者相談窓口として運営を行なうとともに、生活支援コーディネーター等との連携のもと、地域における住民主体の福祉活動等の把握、住民及び専門職ネットワークの構築に努め、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進しました。

○設置運営場所

- 神照郷里地域包括支援センター 長浜市神照町288-1 長浜北部福祉ステーション内
- 浅井びわ虎姫地域包括支援センター 長浜市宮部町3445 生きがいセンター内
- 湖北高月地域包括支援センター 長浜市高月町西物部73-1 高月福祉ステーション内

○事業実績

■総合相談支援事業

相談形態	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合計
電話	1,828	1,425	970	4,423
来所	275	326	337	938
訪問	686	360	384	1,430
会議	122	64	34	220
その他	115	44	24	183
合計	3,026	2,219	1,749	6,994

■虐待対応

	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合 計
対応件数	10	10	13	33

■介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援			介護予防ケアマネジメント			合計		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
神照郷里	699	727	1,426	568	454	1,022	1,267	1,181	2,448
浅井びわ虎姫	795	1,005	924	403	321	724	1,198	1,326	2,524
湖北高月	389	535	924	391	341	732	780	876	1,656
合計	1,883	2,267	4,150	1,362	1,116	2,478	3,245	3,383	6,628

■包括的・継続的ケアマネジメント業務

会議名	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合 計
地域ケア会議	172	146	133	451
虐待対応会議	45	31	40	116
認知症施策推進	47	94	58	199
その他	50	88	43	181
合 計	314	359	274	947

■研修・地域ネットワーク活動

内容	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合 計
研修参加	59	60	44	163
地域ネットワーク活動	45	70	35	150

6. その他事業

【善意銀行】

○金銭口座

107件 5,658,262円

○物品口座 338件

古切手等	270	・古切手 ・ペットボトルキャップ ・ベルマーク ・割り箸 ・テレホンカード ・書き損じはがき ・インクカートリッジ
食料品	13	・お米 等
介護用品等	13	・紙おむつ ・車椅子 ・歩行器
日常生活用品	22	・タオル類 ・肌着類 ・石鹸 ・洗剤 ・毛布 等
その他	20	・テレビ、扇風機 等

【日本赤十字社長浜市地区】

日本赤十字社の活動資金募集、災害時における救援援助活動、赤十字奉仕団活動の支援等を実施しました。

区 分	金 額 (円)
会費・寄附金	8,430,318
法人活動資金	894,000
合 計	9,324,318

【長浜市共同募金委員会】

赤い羽根共同募金（一般募金）および歳末たすけあい募金を推進するために、事務局を設置し円滑な募金活動に取り組みました。

○赤い羽根共同募金（一般募金）運動の推進

区 分	募 金 額 (円)
戸別募金	6,736,968
街頭募金	925,598
法人募金	815,332
学校募金	281,096
職域募金	292,991
その他の募金	99,601
合 計	9,151,586

○歳末たすけあい運動の推進

	募 金 額 (円)
歳末たすけあい募金	5,070,314

7. 法人運営等

【理事会開催】

○平成30年6月12日（火）（第2回）

- ・平成29年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成29年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算報告について
- ・平成29年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算報告について
- ・平成30年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計第1号補正予算(案)について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 職員就業規則の一部改正について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事務局の組織及び運営に関する規程の一部改正について
- ・評議員選任・解任委員の選任について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・平成30年 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会定時評議員会の招集および招集に必要な事項について
- ・役員(理事)候補者名簿について
- ・平成29年度 社会福祉法人指導検査の結果について
- ・介護保険事業の効率的な運用実施について

○平成30年9月7日（金）（第3回）

- ・収支改善に向けた取り組みについて
- ・長浜市指定管理施設への応募について
- ・びわ・虎姫デイサービスの今後の運営について
- ・長浜米原しょうがい児者基幹相談調整センターの受託について
- ・会長の職務執行状況の報告について

○平成31年3月19日（火）（第1回）

- ・平成31年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画(案)について
- ・平成31年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算(案)について
- ・平成31年度 長浜市共同募金委員会予算(案)について
- ・平成31年 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 第1回評議員会の招集及び招集に必要な事項について
- ・長浜市地域福祉センター指定管理者への応募について
- ・会長の職務執行状況の報告について

【評議員会開催】

○平成30年6月27日（水）（第2回）

- ・平成29年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成29年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算報告について
- ・平成29年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算報告について
- ・平成30年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計第1号補正予算(案)について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 理事の選任について

○平成31年3月27日(水) (第1回)

- ・平成31年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画(案)について
- ・平成31年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算(案)について
- ・平成31年度 長浜市共同募金委員会予算(案)について

【監事会開催】

○平成30年5月30日(水) (第1回)

- ・平成29年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成29年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- ・平成29年度 長浜市共同募金委員会 会計収支決算について

○平成30年12月17日(月) (第2回)

- ・平成30年度(前期分) 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成30年度(前期分) 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について

【正副会長会開催】

○平成30年6月1日(金) (第2回)

- ・理事会、評議員会議案について

○平成30年9月6日(木) (第3回)

- ・理事会の議案について

○平成31年3月5日(火) (第1回)

- ・理事会の議案について

【その他】

○平成30年6月14日(木) (第1回)

- ・平成30年 評議員選任・解任委員会

【会費実績】

○一般会費： 自治会他 11,905,841円

○特別会費： 240件 1,005,000円

注記 事業報告の附属明細書については事業報告と一体的に作成しています。